

広島アニメーション

だより

広島メディア芸術を発信する情報誌

特集 被爆80年の夏、アニメーション・映画体験で語り継ぐ

今夏 広島のスクリーンで平和への思いを新たに



“まちなか映画館”による平和関連映画の連携上映

八丁座、サロンシネマ、横川シネマ、広島市映像文化ライブラリー



広島フィルムコミッション 公式サイトより <https://www.hiroshima.fc.jp/news/detail.php?id=103>



© 2019 こうの史代・コアミックス / 『この世界の片隅に』製作委員会

2025年、広島は被爆80年目の夏を迎えます。市内の映画館と広島市映像文化ライブラリーでは、新旧合わせて50作品以上の平和に関連する映画を上映する大規模なイベントが行われます。映像作品に記録され表現されたものは人の心に訴えかける大きな力を持っています。この夏、平和への想いを新たに作るアニメーション・映画の取り組みを紹介します。

広島の“まちなか映画館”による平和関連映画の連携上映

八丁座、サロンシネマ、横川シネマ、広島市映像文化ライブラリーにて新旧50作品以上を上映！

国際平和文化都市の広島では、毎年、原爆・戦争・平和を考える様々な取り組みが行われています。被爆80年目にあたる2025年の夏、そのひとつとして、市内の映画館～八丁座（中区）、サロンシネマ（中区）、横川シネマ（西区）～と広島市映像文化ライブラリー（中区）が連携し、新旧50本以上の平和関連の映画（アニメーション映画含む）が上映されます。映像作品を通じて平和の尊さを考えるこのイベントにぜひご注目ください。

アニメーション映画は次のとおりです。八丁座では『この世界の片隅に』（片瀬須直監督、2016年）が再登場。『この世界の片隅に』が完成した時に、広島市内での試写会や片瀬監督の舞台挨拶が八丁座で行われるなど、両者はとても深い繋がりで知られています。横川シネマは『ジュノー』（木村真一郎監督、2010年）です。この作品では原爆投下後の広島で医療に尽力したスイス人医師マルセル・ジュノーの生涯が描かれています。広島市映像

文化ライブラリーでは中沢啓治原作の『黒い雨にうたれて』（白土武監督、1984年）と『クロがいた夏』（白土武監督、1990年）に続き、野坂昭如原作『火垂るの墓』（高畑勲監督、1988年）、宮崎駿原作『風の谷のナウシカ』（宮崎駿監督、1984年）、松本零士原作『銀河鉄道999』（りんたろう監督、1979年）という名作が35mmフィルム上映で楽しめます。特に『火垂るの墓』の35mmフィルム上映は貴重な機会ですので、この夏の映画体験としてぜひともおすすめします。

これらアニメーション映画をはじめとして、平和に関連する貴重なドキュメンタリーも含めた映画が50本以上も上映されます。この夏、広島のまちなか映画館に足を運び、アニメーションや映像によって表現される原爆や戦争の実相やそこに描かれる人々を見つめ直し、今この時代、未来へ何を継承していくか考えるきっかけとなればと思います。

この夏、“まちなか”で上映される平和関連アニメーション映画

※最新情報や実写映画の上映情報は各館の公式サイト等をご確認ください。

●八丁座（中区胡町6-26 福屋八丁堀本店8階）

『この世界の片隅に』（片瀬須直監督、2016年） 8月1日（金）～15日（金）

●横川シネマ（西区横川町3-1-12）

『ジュノー』（木村真一郎監督、2010年） 8月2日（土）～8日（金）

●広島市映像文化ライブラリー（中区基町3-1）

『黒い雨にうたれて』（白土武監督、1984年） 7月25日（金）

『クロがいた夏』（白土武監督、1990年） 7月26日（土）

『火垂るの墓』（高畑勲監督、1988年） 8月10日（日）、8月11日（月・祝）

『風の谷のナウシカ』（宮崎駿監督、1984年） 9月15日（月・祝）、9月23日（火・祝）

『銀河鉄道999』（りんたろう監督、1979年） 9月27日（土）、9月28日（日）

被爆80周年記念事業、ひろしま国際平和文化祭コラボイベント 「広島ゆかりのアニメーション2025」上映会

2025年7月25日(金)・26日(土)、広島市映像文化ライブラリー(中区)において「広島ゆかりのアニメーション2025」上映会が開催されます。

広島とアニメーションの関わりをさかのぼると、1970年代後半から現代に至るまで原爆や平和、戦後の広島の復興などをテーマにした広島ゆかりのアニメーション作品がたくさん製作されてきました。また、現在は広島出身の若いアニメーション作家も登場するようになり、これまでのテーマにとられない独自の表現を模索する姿も見られます。

NPO法人広島アニメーションシティ(通称:HAC[ハック])は、広島市映像文化ライブラリーとの共催により、2018年からこの上映会を開催してきました。この上映会は、広島市映像文化ライブラリー所蔵作品を中心に、広島出身・在住作家や広島を舞台とする作品など、様々な視点から広島にゆかりのあるアニメーションを選び、アニメーションが広島の新しい都市文化の一つとして親しまれることをめざしています。

今年は被爆80周年記念事業、ひろしま国際平和文化祭コラボイベントとして、中沢啓治先生原作の被爆体験をテーマとした2作品『黒い雨にうたれて』(白土武監督、1984年)、『クロがいた夏』(白土武監督、1990年)を上映します。

『黒い雨にうたれて』は、原爆投下から30数年後の広島で、

幼い頃に被爆した岩田武司が営むスナックに集まる被爆者たちを描くもので、戦後もなお続く被爆の問題を考えさせられる大人向けアニメーションです。被爆二世の若者・滝村順二の声を西城秀樹が演じます。『クロがいた夏』は、いつの時代にもある子どもたちと子猫のふれあいを描き、そこにふりかかる悲しみを共感しながら観ることができます。

広島市映像文化ライブラリー移転のため、爆心地に近い今の施設での上映は今回までです。ぜひ足を運んでみてください。

- 上映場所 広島市映像文化ライブラリー(広島市中区基町3-1)
- 上映作品 7月25日(金)『黒い雨にうたれて』/7月26日(土)『クロがいた夏』
- 上映開始時間/鑑賞料(25・26日とも)
①10:30~ ②14:00~ ③18:00~
大人510円、シニア(65歳以上)250円、25歳以下無料
- 主 催 NPO法人広島アニメーションシティ、広島市映像文化ライブラリー
- 問合せ 広島市映像文化ライブラリー TEL 082-223-3525
(<http://www.cf.city.hiroshima.jp/eizou/>)

被爆80周年記念事業、ひろしま国際平和文化祭コラボイベント

広島ゆかりのアニメーション2025

広島市映像文化ライブラリー

■2025年7月25日(金)・26日(土)
①10:30~ ②14:00~ ③18:00~
鑑賞料/大人510円、シニア(65歳以上)250円、25歳以下無料
■7/25(金) 黒い雨にうたれて
■7/26(土) クロがいた夏

主催/NPO法人広島アニメーションシティ、広島市映像文化ライブラリー 2作品の紹介は裏面に記載

広島市映像文化ライブラリー
広島市中区基町3-1 ☎082-223-3525 FAX082-228-0312



ひろしまアニメーションシーズン2024をふりかえるパネル展

昨夏開催された「ひろしまアニメーションシーズン2024」の写真パネル展が行われます。グランプリをはじめ各受賞作品や多彩なゲストによる関連イベントの詳細、会場の様子などをふりかえることができます。来夏開催の「ひろしまアニメーションシーズン2026」がますます楽しみになります。ぜひご覧ください。

内容:ひろしまアニメーションシーズン2024をパネル、ポスター、PR映像等により紹介
会場:広島市映像文化ライブラリー1階研修室(広島市中区基町3-1)
会期:7月24日(木)~8月11日(月・祝)
休館日:7月28日(月)、8月4日(月)
開館時間:10:00~20:00(火~土)/10:00~17:00(日・祝と8月6日(水))
料金:無料
主催:ひろしま国際平和文化祭実行委員会、広島市映像文化ライブラリー
問合せ:TEL082-223-3525(広島市映像文化ライブラリー)
http://www.cf.city.hiroshima.jp/eizou/prg/cal_202507.html?id=panel_anim

広島市映像文化ライブラリーへ感謝を、万感の想いをこめて……

HAC 松浦妙子

広島市映像文化ライブラリーは、今年10月1日から臨時休館となります。

同館は1982(昭和57)年5月1日、地方自治体としては初めて、映画や音楽のアーカイブ施設として開館しました。所蔵する作品は、館内上映のための35mmフィルムを中心として、地域の団体貸出用の16mmやDVD、また館内ブース視聴用のビデオやDVDがあるという、市民が豊かな映像・音楽文化に気軽に触れることのできる貴重な施設です。ホールでの上映会は、35mmフィルム作品は大人510円/シニア・高校生250円/小学生以下無料、その他(16mm・BD等)は大人380円/シニア・高校生180円/小学生以下無料で鑑賞でき、良質のアニメーション映画は月1回「ファミリーシアター」と銘打って上映されてきました。

建物の老朽化への対策、映像・音楽資料のより良い保存のために、広島駅南口エールエールA館へ移転することになりました。移転後の開館は来年度当初が予定されています。

今年、「被爆80年の夏、広島のスクリーンで平和への思いを新たに」として、広島のまちなか映画館(八丁座・サロンシネマ・横川シネマ)と連携して、4館で新旧50本以上の平和関連映画が上映されます。映像文化ライブラリーでは6月末から9月にかけて、1950年代からの貴重な映画30本以上を見ることができます。7~9月はU-25(25才以下)は無料となります。この機会にぜひ緑豊かな中央公園の中に足を運び、映画を通して平和を考える夏にしましょう。

そして、臨時休館前ラストの上映作品は、日本のアニメーション映画の傑作のひとつ『銀河鉄道999』(りんたろう監督、1979年、東映動画)(35mmフィルム上映)となるようです。接続する中央図書館とともに43年間に渡って広島市の文化を支えてきた映像文化ライブラリーへ感謝を、万感の想いを込めて……



「いま、ここにあるヒロシマ5
～被爆80年・わたしたちが受け継いでいくもの～」
平和公園早朝フィールドワーク

このフィールドワークは、戦争と日常が交差したヒロシマの地に実在した場所を訪ねながら、アニメーションや絵画を通して平和を考える機会を提供されます。若い世代を含む幅広い方々に、実際の場所を歩いて感じる学びの場として参加していただきたいイベントです。

日程：2025年8月23日(土)・24日(日)8:30～(各回2時間程度を予定)

会場：

<8月23日>映画『この世界の片隅に』の舞台を歩く(集合場所：本川橋東詰)

<8月24日>被爆者・森富茂雄さんの世界をたどる(集合場所：レストハウス2階会場)

講師：中川幹朗(ヒロシマ・フィールドワーク実行委員会)

参加費：500円(資料代含む)

申込み方法：Googleフォームにて事前申込制(定員各回10名程度)

<https://forms.gle/RtyY9f8qJA1FZXra7>

主催：「原爆ドームとヒロシマ」実行委員会

問合せ：E-mail genbakudomehiroshima@gmail.com

TEL 090-4577-1369(担当：山出ひさ子)



開催準備進行中！ 海外ゲストも続々決定！
平和は楽しい！ポップカルチャーの魅力を広島から世界へ。
ポップカルチャーひろしま2025

国境を超えて共感を呼ぶ日本発のアニソン、コスプレなどのポップカルチャーをテーマにした交流イベント「ポップカルチャーひろしま2025」の開催準備が進んでいます。10月の開催に向け、海外からのゲストコスプレイヤーを決める選考イベントも各地で開催中。すでに6月以降、韓国、ドイツ、台湾、インドネシア、タイなどで次々と代表が選ばれ、8月にはマレーシアの予選会もクアラルンプールで開催されます。



このイベントは、若者文化による国際交流の場を提供し、「平和は楽しい」というメッセージを広島から世界へ発信することをめざして「NPO法人音楽は平和を運ぶ」と多くの関係団体が作る実行委員会により2017年から運営されています。昨年は12の国と地域からゲストコスプレイヤー23名を招待。海外ゲストと地元コスプレイヤー合計約200名によるパレードや俳優や歌手を交えてのステージ、さらに広島を知るツアーなど盛りだくさんのイベントでした。2025年10月の開催をご期待ください！

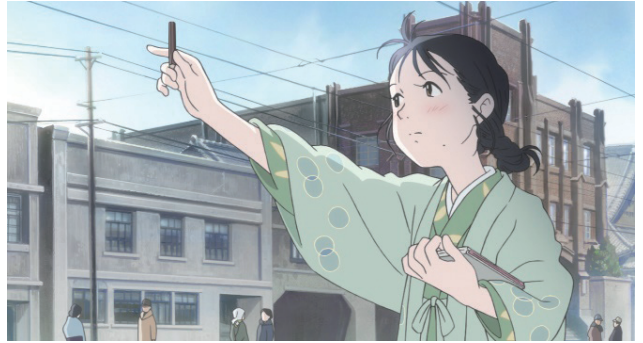
日程：2025年10月18日(土)・19日(日)

会場：NTTクレドホール(広島市中区基町6-78基町クレド・パセーラ11F)

ポップカルチャーひろしま2025オフィシャルサイト

<http://www.pophi.jp/index.html>

すずさん百歳の年に ふたたび全国で。
終戦80年上映 映画『この世界の片隅に』



© 2019この史代・コアミックス / 「この世界の片隅に」製作委員会

すずさんが帰ってくる！

戦時下でも工夫しながら、なにげない日々を笑いながら暮らしていた、すずさん。あれから80年目の夏、百歳となったすずさんは、あのほんわりとした雰囲気のまま呉の「片隅」で暮らしているのでしょうか？ そんなふうに考えてしまうほど、『この世界の片隅に』の物語は私たちの心に深く刻まれています。

すずさん百歳の年に、映画『この世界の片隅に』がふたたび全国で上映されます。それぞれの町に80年前、80年間の記憶が残ります。すずさんの暮らすようすは、全国どの町にも語り継ぐ物語があることを思い出させてくれます。あなたの町の映画館にやってくる、すずさんに会いに行ってください。右手がそと、あなたの頭をなでてくれるかもしれません。

■劇場情報は映画公式サイトから⇒<https://konosekai.jp/>

<広島県内>

上映期間8月1日(金)～15日(金)：

八丁座(すずさんがスケッチした福屋百貨店の中)

MOVIX広島駅(里帰りしたすずさんが切符を買いそこねた広島駅)

109シネマズ広島(おばあちゃん家のある草津)

呉ポポロ(すずさんが北條家の家族と暮らす町)、福山駅前シネマモード

上映期間8月2日(土)～8日(金)、8月15日(金)：シネマ尾道

★8月6日(水) 呉ポポロ、八丁座、MOVIX広島駅で片瀬須直監督舞台挨拶

被爆80周年特別投影 夕凧の街 桜の国

大ヒット映画『この世界の片隅に』の原作者・この史代さんによるあの名作漫画がプラネタリウムに！

平和と原爆について、星空とともに考えてみませんか？

会場：5-Daysこども文化科学館4階プラネタリウム(広島市中区基町5-83)

会期：2025年7月19日(土)～8月31日(日)

休館日：月曜(祝日の場合は開館)、祝日の翌平日、12月29日～1月3日

※7月21日、8月11日は開館、7月22日、8月12日は休館

投影時間：毎日15:00～(約47分、星空解説はありません)

料金：大人510円、高校生・65歳以上250円、小中学生以下無料

問合せ：082-222-5346

https://www.pyonta.city.hiroshima.jp/event_guide/list/detail?id=37791

コスプレやアニソンで国際交流を楽しもう！

入場無料

コスプレキッズも大歓迎！



2025年10月18日(土) 19日(日)

場所：NTTクレドホール

(広島市中区基町6-78基町クレド・パセーラ11F)

海外ゲストパフォーマンス、声優トークショー、コスプレパレード、アニソンカラオケコンテスト、アニソンコンサート、武将隊パフォーマンス等

<http://www.pophi.jp>



ゲスト声優 田中ちえ美 (18日のみ)



◆Event Information

載せきれなかったイベント情報はカレンダー形式でHACサイトに掲載中！ → <http://hac.or.jp>

●やなせたかし 色と言葉のパレット～アンパンマンとメルヘンの世界～

会場：筆の里工房（安芸郡熊野町中溝5-17-1）
会期：2025年7月4日（金）～9月15日（月・祝）
休館日：月曜 ※祝日の場合は翌日
開館時間：9:30～17:00（入場は閉館30分前まで）
料金：大人800円、小中高生250円、未就学児無料
問合せ：082-855-3010
https://fude.or.jp/jp/exhibition_post/2025/02/3267/

●ハッチポッチ 藤枝リュウジの世界

会場：広島県立美術館（広島市中区上機町2-22）
会期：2025年7月18日（金）～9月7日（日）
休館日：会期中無休
開館時間：9:00～17:00（入場は閉館30分前まで） ※金曜は20:00まで開館
料金：一般1,500円、高大学生1,000円、小中学生700円
問合せ：082-221-6246
<https://www.hpam.jp/museum/exhibitions/hotchpotch/>

Pick Up アニメーション美術監督に学ぶ「背景美術の描き方」講座

島根県益田市匹見町で9月27日（土）・28日（日）に、アニメーション美術監督による「背景美術の描き方」講座が開催されます。講師は吉田昇氏と渡邊洋一氏。ともに島根県にゆかりがあり、スタジオジブリ作品をはじめ様々な作品でご活躍中。この講座は水彩を用いた背景美術の基本を学ぶもので、未経験者も歓迎とのこと。匹見町の自然豊かな環境の中で現場の技術に触れることができる貴重な機会です。



内 容：アニメーション美術監督から水彩による背景美術の基本を学び、実際に描く体験講座

会 場：匹見峡レストパーク（島根県益田市匹見町匹見イ853-3）
日 時：9月27日（土） 午前の部9:00～12:00／午後の部13:30～16:30
9月28日（日） 午前の部9:00～12:00／午後の部13:30～16:30

講 師：吉田昇氏、渡邊洋一氏

受講料：25,000円

主 催：株式会社 葵屋 <https://hikimiaoia.com/> TEL 0856-56-1411

イベント詳細・直接申込み⇒ <https://hikimikaiga-shop.stores.jp/>

ふるさと納税を活用する場合は、「ふるさとチョイス」から申し込みます。

※益田市内の萩・石見空港及びJR益田駅から会場までの送迎あり。詳しくは主催者のサイトをご覧ください。

●PUI PUI モルカー × ママジ交通ミュージアム モルカーとわくわくクルマワールド2

会場：ママジ交通ミュージアム・2階特別展示室ほか
会期：2025年7月18日（金）～9月7日（日）
休館日：月曜 ※7月21日、8月11日は開館、8月12日（火）休館
開館時間：9:00～17:00（入場は閉館30分前まで）
料金：大人510円、高校生・65歳以上250円、中学生以下無料
問合せ：082-878-6211
<https://www.vehicle.city.hiroshima.jp/event/detail?id=48542>

●水木しげるの妖怪 百鬼夜行展～お化けたちはこうして生まれた～

会場：鳥取県立美術館 企画展示室（鳥取県倉吉市駄経寺町2-3-12）
会期：2025年7月19日（土）～8月31日（日）
休館日：月曜 ※7月21日、8月11日は開館、7月22日（火）休館
開館時間：9:00～17:00（入場は閉館30分前まで）
※8月2日（土）、9日（土）、10日（日）、30日（土）、31日（日）は21:00まで
料金：一般1,500円、学生950円、高校生500円、小中学生300円、未就学児無料
問合せ：0858-24-5442
<https://tottori-moa.jp/exhibition/view/exhibition-02-2/>

●ブルーロック展 EGOIST EXHIBITION the animation

会場：そごう広島店9階 特設会場
会期：2025年8月10日（日）～8月27日（木） 休館日：会期中無休
開館時間：10:00～19:30 ※最終日は17:00閉場
料金：当日入場券2,000円 ※8月10日午前0時からオンライン販売、詳細はHPで
問合せ：082-225-2111
<https://www.sogo-seibu.jp/hiroshima/topics/page/202508bluelock.html>

秋イベント紹介

■フクヤアニメ8

日程：2025年10月18日（土）・19日（日） 会場：福山駅周辺+みろくの里 各会場
今年も短編アニメ作品大募集！「もえろ！アニメコンペティション フクヤアニメAWARD2025」募集期間：9月15日（月・祝）まで
審査員（敬称略）：羽原信義、只野和子、岡秀樹、笠間寿高
★詳しくは⇒<https://fukuyamanime.jp/event2025/anime-compe/>

■こわい映画祭

広島開催は前回で一旦終了、今年度は11月に「名古屋こわい映画祭」というネーミングで名古屋の映画館シネマスコリーに開催されます。
★詳しくは⇒<https://www.nagoyakowai.com/>

感染症対策については各施設・主催者の要請をご確認ください。前売、団体、夏休み期間中の無料・割引については詳細は、各施設サイトを参照ください。年齢等を確認できる証明書提示を求められる場合があります。障がい者手帳等をお持ちの方は無料になる施設もあります。

比治山大学 × サニクリーン共同研究事業
こどもたちの「未来のきもちのよい暮らし」をアニメーションで応援！

アニメや体操で学ぶ！ びかびか教室



お問い合わせ サニクリーンアカデミー事務局（担当：片岡）
E-mail: info@sk-acad.or.jp Tel: 0120-01-3290

きれいを体験するアニメづくり！ びかびかアート教室



開催費用 無料
ご希望の保育園・幼稚園など募集中！



↑教室の様子はコチラ

きれいにしたい。あしたのために。

サニクリーンは「レンタル」「リサイクル」などのシステムを
ととして、資源の有効活用を目指し、人としげんにやさしい
サービスと商品をお届けしています。

サニクリーン

フリーダイヤル ハロー サニクリーン
0120-86-3290

広島新銘菓

生もみじ



にしき堂

発行日：2025年7月22日 発行部数：5000部／発行：広島市市民局文化スポーツ部文化振興課

編集：NPO法人広島アニメーションシティ（HAC）・松浦妙子・谷口重徳・カワサキマミ／題字デザイン：カワサキマミ／題字デザイン：岡川卓詩（名古屋芸術大学）

【紙面についてのお問合せ】NPO法人広島アニメーションシティ事務局 〒730-0011広島市中区基町21-3 中国放送会館内

<http://hac.or.jp/> Email: hac-jimu@hac.or.jp

メディア芸術に関する情報やご意見を募集しています